



上 一面に咲き誇る30万本のコスモス
三谷コスモス祭り

11月20日、みたにコスモス園で『第5回上三谷コスモス祭り』が行われました。

農地・水・保全管理支払交付金活動の一環として、地域住民が、稲刈り後の水田3,000㎡に約30万本のコスモスを生育させ、毎年この時期に開催している手づくりのお祭り。今年は、生育状況が遅く関係者も心配したそうですが、見事一面に咲き誇り、特設会場でのさまざまな催しとあわせて大盛況で幕を閉じました。



ふ 歩いて発見！歴史と緑の里 上吾川
ふるさと探訪 上吾川

11月20日、上吾川で『ふるさと探訪上吾川』が行われました。

自分たちの住む地域を見つめ直すことを目的とした、地元住民主催によるイベント。子どもから高齢者まで約150人が集落を巡り、「きれいな所」、「大切にしていきたい所」、「改善したい所」、「汚い所」、「危険な所」などをチェックして点検マップを作成しました。みんなで将来を考え、話し合い、地域の魅力などを再発見しました。



佐 佐礼谷地域の活動が高く評価
佐礼谷地域農地・水・環境保全会が最優秀賞

11月18日、「佐礼谷地域農地・水・環境保全会」が『平成23年度農地・水・保全管理対策中国四国農政局長最優秀賞』を受賞しました。

この賞は、団体や組織が行う、農地・農業用水などの施設や環境を保全管理する活動が、他の模範となる団体へ贈られるものです。佐礼谷地域の若者による遊休農地の活用や、大学や他団体と連携した取り組みなどが高く評価され、今回の受賞となりました。



さ 佐礼谷の伝統や特産品がここに集結
さだにきてみん祭

11月20日、佐礼谷診療所前のふれあい広場で、『第4回さだにきてみん祭』が開催されました。

猪鍋や猪焼き肉、猪カレーパン、栗渋皮煮大福、そば枕や木工品などが売られ、佐礼谷太鼓や村中万才、佐礼谷獅子舞などが披露されました。また、もちつきが始まると人だかりができ、つきたてのおもちを食べながら、人々は楽しい時間を共有していました。



伊 郡中小学校6年生が伊予市についてパネルディスカッション
伊予市アピール大作戦

11月16日、郡中小学校で『伊予市アピール大作戦～パネルディスカッション～』が行われました。

根拠や理由を明らかにして話し合うことを目的とした国語科の授業で、児童だけでなく市の関係職員も参加して、伊予市をアピールする方法を話し合いました。伊豫国限定グッズの販売や遊園地開発、新しいイベントの開催、口ケ地の誘致、芸能人に応援してもらうなど、クラス全員がふるさとの活性化のため、積極的に意見を出し合いました。



平 謹んで哀悼の誠をささげます
和祈念式典

11月18日、伊予市市民会館で『平成23年度伊予市平和祈念式典』が行われました。

市長や伊予市遺族会会長などの追悼のことばの後、関係機関や団体の代表者が慰霊碑に献花を行いました。

西南の役以降第2次世界大戦までの伊予市の戦没者および公務殉職者は1622柱。

戦没者および公務殉職者の御霊に対して、謹んで哀悼の誠をささげます。



相 伊予市の特産「みかん」でおもてなし
相馬農業高等学校と交流体験

11月17日、相馬農業高等学校と伊予農業高等学校、中山高等学校が『交流体験』を行いました。

「えひめ愛顔の助け合い基金」が実施している被災地学校修学旅行支援事業を利用し福島県から来県。みかん狩りやお互いの高校紹介、相馬農業高等学校の現状報告などを通じて交流を深めました。みかん狩りでは、「急斜面でびっくりした」「初めてのみかん狩りでとても楽しかった」など笑顔があふれていました。

ほっと
アングル

すくすく いよっ子



元気で明るい子に育ててね♡

♡土居 美結 ちゃん(右)
平成21年12月2日生まれ(2歳)

♠海翔 くん(左)
平成23年8月10日生まれ(4カ月)
《父》哲也さん 《母》佳子さん(下吾川)



元気でやさしくなってね☆

♠日野 結翔 くん(右)
平成22年1月16日生まれ(1歳)

♠陽翔 くん(左)
平成23年5月17日生まれ(7カ月)
《父》誠己さん 《母》美千子さん(下三谷)



上 もちつきを通じて地域のつながりを 吾川松本町内会 もちつき大会

12月4日、上吾川松本公民館で『松本町内もちつき大会』が行われました。

参加したのは、松本町内の子どもから高齢者まで約150人。年に4回行われる資源ごみ回収の費用で実施され、出来上がったおもちが町内の全世帯に配られました。家族での参加者も多く、お父さんに「もっと腰をしっかり据えて!」とつき方を教わりながら、一生懸命おもちをついている子どもの笑顔が印象的でした。



防 家庭や地域で防災力を高める 防災キャラバンin伊予市

12月11日、県内20市町を巡る『防災キャラバン』が、市民会館で行われ、愛媛大学防災情報研究センター長の矢田部龍一さんらが講演しました。

講演では、30年以内に約60%の確率で発生する東南海・南海地震に備えるため、家庭や地域の防災力を高めてほしいといった内容や、具体的に伊予市ではどのように発生するのか、東日本大震災での緊急消防援助隊の経験などが語られました。



わ 子どもも大人も夢中になりました くわくどきどきわいわい木で遊ぼう

11月27日、伊予市生涯研修センターさざなみ館で『わくわくどきどきわいわい木で遊ぼう』が行われました。

積み木で町を作ったり、円筒ドームを作ったりする『積み木ワークショップ』では、子どもも親も目を輝かせながら積み木をどんどん積み上げていきました。ほかに、木でおもちゃを作ったり、木の球プールに転がってみたり、とことん木で遊ぶことができました。



イ 南山崎小学校のシンボルツリー イチョウの木がライトアップ

12月1～14日、南山崎小学校の大きなイチョウの木がライトアップされました。

秋には毎朝小学生たちがざんなんを拾っていた、南山崎小学校のシンボルツリー。3年前から、冬にはきれいにライトアップされています。今年は緑から黄色に変わるのが遅くなりましたが、その分ライトアップされたイチョウは生き生きと輝き、訪れた人々を見とれさせていました。



四 双海発のビジネスを考える 四国サイコーダイガク公開シンポジウム

11月23日、翠小学校体育館で『四国サイコーダイガク公開シンポジウム』が行われました。

「四国サイコーダイガク」は、双海地区グリーン・ツーリズム推進協議会が、双海の観光資源を生かした新たな観光商品・サービスの開発を目指し、取り組んでいる事業。この日は、その成果の中間発表を行ったほか、双海初のビジネスや地域の活性化などについてのパネルディスカッションを行いました。



下 下灘駅を愛する人たちの花が咲き誇る 下灘駅花まつり

11月29日、JR下灘駅で『第4回下灘駅花まつり』が行われました。

JR下灘駅を訪れるたくさんの観光客に喜んでもらうと、地域の老人会や小学生、伊予農高生、JR関係者の方々が、駅構内に花を植えたことがきっかけとなり、毎年開催されています。コスモスや野路菊などの花がきれいに咲く中、合唱や吹奏をしたり、JR下灘駅にちなんだ俳句を詠んだりして、秋のひとときを楽しみました。